

# 1. 森のはたらき



もしも森がなかったら  
わたしたちのくらしはどうなるのでシカ？

## ◆ 森のはたらき①

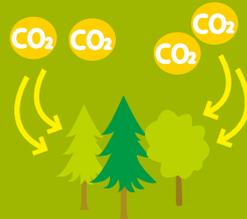
### 快適な環境をつくる



みなさんは森に入って気持ちがいいと感じたことはありませんか？ 森の木々には、葉をしげらせて暑さをやわらげたり空気が乾燥するのを防ぐはたらきがあります。また、森にはわたしたちの体をリラックスさせる効果があるといわれています。

## ◆ 森のはたらき②

### 二酸化炭素をたくわえる



木は太陽の光と二酸化炭素を利用して成長します。木の成長に使われた二酸化炭素は、木が燃えたり腐ったりするまで炭素として木にたくわえられます。

また、森の木を育てて、その木で作った木製品を長く使うことで、地球温暖化のもとになる二酸化炭素を多くたくわえることができます。

## ◆ 森のはたらき③

### きれいな空気をつくる



森の木々は二酸化炭素を吸収して酸素をつくるほか、よごれた空気をきれいにするはたらきもあります。

## ◆ 森のはたらき⑤

### 水をたくわえる



森の土はやわらかくスポンジのようにすき間がたくさんあります。そのため森にふった雨は、土に吸収されて地面の中にたくわえられます。たくわえられた水は土の中から少しずつ流れ出すため、洪水や水不足が起こりにくくなります。

また、雨水は土の中を流れることでろ過されてきれいな水になります。

## ◆ 森のはたらき④

### 木材を生み出す



みなさんの周りにあるもので「木でできたもの」にはどのようなものがありますか？ 森から切り出された木は加工され、机やイス、ロッカーのほかにも、紙やえんぴつ、ピアノやとび箱などいろいろなものに使われています。もちろん建物を支える柱や壁、床に使われることも多く、箸やおわん、まな板など、わたしたちのくらしの様々なところで利用されています。

知

ってる？ ①：伊勢神宮の森



大正末から昭和初期頃の宮域林（ヒノキの植林地）（左）  
大きな木がほとんどない時期がありました。  
現在の宮域林（右）

写真提供：神宮司庁

伊勢神宮には、「宮域林」とよばれる森があります。今では社を建てるヒノキなどが育つ立派な森ですが、江戸時代にお伊勢参りが盛んだった頃は、旅人をもてなすための薪を取りすぎてしまい、森が荒れてしまったといわれています。そのため、この森から流れ出る五十鈴川の下流ではたびたび災害が起こりました。その後、大正時代から植林が進み、周辺の森が豊かになるにつれて下流の氾濫は治まりました。今では大雨がふっても大きな被害は出ません。伊勢神宮の森は、地域の人々のくらしを守っています。

◆ 森のはたらき⑥

風や砂を防ぐ



家や田畑のまわりに植えられた木々は、風や砂からわたしたちのくらしや農作物を守るはたらきがあります。また海岸に沿って木が植えられている海岸林では、風や砂を防ぐほか、高潮などの被害を減らすはたらきもあります。

◆ 森のはたらき⑦

川や海を豊かにする



森の中を流れる水は、森の養分をふくんで川や海に流れこみ、生き物のえさになるプランクトンを育てるなど水辺の環境を豊かにします。また水辺に育つ木や森は、魚のすみかやえさ場となる木かげをつくるなど、生き物がすみやすい環境を生み出します。

◆ 森のはたらき⑧

動植物のすみかとなる



森は木や草などの植物だけでなく、動物や鳥、昆虫など多くの生き物のすみかとなり、そのくらしを支えています。

◆ 森のはたらき⑨

土を支える



森の木々は、地面に根をはりめぐらすことで土が崩れたり流れ出すのをおさえています。また森の草木が地面をおおうことで、雨が地面に直接あたるのを避け、土砂が流れ出すのを防いでいます。



知ってる? ② : 七里御浜の海岸林



七里御浜の海岸林

写真提供：三重森林管理署

七里御浜は、熊野灘に面して熊野市・御浜町・紀宝町にまたがる美しい海岸で、大部分がユネスコの世界文化遺産に登録されています。その海岸に沿って江戸時代初期に植えられたとされる海岸林は延長20km以上に及び、海からの強い風を防ぐ防風林として地域の人々のくらしを守っています。

大事なはたらきが  
たくさんある森の木  
を切ってしまうって  
も良いのでシカ?

